

京都府の予算及び施策に対する

要望書



京田辺市

京都府知事 西脇 隆俊 様

平素は、京田辺市政の推進に、格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私も、本年4月に執行されました市長選挙におきまして、2期目の市政運営をスタートさせていただくこととなりました。

今後は、コロナ禍も転換期を迎えたことから、社会経済活動の一層の回復と、市民との対話を基本に、西脇京都府政との連携を一層深めながら、都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に、全力で取り組む所存であります。

さて、本市では、都市の発展とともに、現在も子育て世代を中心に転入が続いており、今後も着実な成長が見込まれるほか、新名神高速道路全線開通や北陸新幹線新駅設置によって、将来さらに大きく飛躍する可能性を秘めています。

一方、子育て支援サービスの充実をはじめとした、市民ニーズに対応した行政経費の増加に加えて、まちの将来を見据えた防災広場整備や枚方市とのごみ焼却施設建て替え、田辺北地区新市街地整備、天理山古墳群史跡広場整備など、大きな財政支出を伴う事業が進行中であり、本市の財政状況は厳しさが増しています。

こうしたことから、今年度、DXの推進、民間活力の導入促進などを柱とした新たな「行政改革大綱」を策定し、「総合計画」と「行政改革」を両輪に、しっかりと先を見据えた持続可能な行財政運営に取り組んでまいります。

また、本市のポテンシャルを最大限に生かし、魅力あるまちづくりを進めるには、交付金、補助金の交付など、国や京都府にご支援をいただくことが不可欠となります。

つきましては、次の要望項目について、格別のご理解とご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和5年10月

京田辺市長 上村 崇

都市像『緑豊かで健康な文化田園都市』の実現へ

「5つのキーワード」によるまちづくり

京田辺市は、第1次総合計画策定時から、目指す都市像を『緑豊かで健康な文化田園都市』として、その実現に向けて取り組んできました。

現在、「第4次京田辺市総合計画」に基づき、これまでのまちづくりを継承しながら、「安全・安心」、「緑」、「健康」、「文化・教育」、「田園都市」の5つをまちづくりのキーワードとして、施策事業の展開に取り組んでいます。

～ 要望項目 目次 ～

安全・安心 ～ 安全で心安らく優しいまち ～

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 台風・局地的豪雨・内水排除対策について | p.1 |
| 2. 道路施設の老朽化対策への支援拡充について | p.2 |
| 3. 防災広場の整備について | p.3 |

緑 ～ 緑に包まれた美しいまち ～

- | | |
|---------------------------|-----|
| 4. 田辺公園拡張整備事業について | p.4 |
| 5. ごみ焼却施設の建替えについて | p.5 |
| 6. ゼロカーボンシティの実現に向けた施策について | p.6 |
| 7. 広域的な野良猫等の対策について | p.7 |
| 8. イノシシ被害対策の推進について | p.7 |

健康 ～ いきいき健康で明るいまち ～

- | | |
|---------------------------|------|
| 9. 認定こども園の整備促進について | p.8 |
| 10. 保育所等設置に係る多様な主体の認可について | p.9 |
| 11. 障がい児保育の充実について | p.10 |

12. 介護職員体制の充実について	p. 10
13. 介護保険総合事業の充実について	p. 11
14. 市町村の負担能力に応じた柔軟な国保事業の財政運営について	p. 11
15. シルバー人材センターへの補助について	p. 12
16. 保健師体制の充実について	p. 12

文化・教育 ～ 子育てしやすく未来を育む文化薫るまち ～

17. 広域的スポーツ施設充実支援事業補助金の拡充について	p. 13
18. 天理山古墳群史跡広場整備に係る財政支援について	p. 14
19. 学校施設長寿命化の推進に対する支援について	p. 15
20. GIGAスクール構想の実現に向けた継続的な支援について	p. 16
21. 多様化するニーズに応えるための学校教職員の確保について	p. 16

田園都市 ～ 活力にみちた便利で快適なまち ～

22. 田辺北地区新市街地整備と複合型公共施設の整備について	p. 17
23. 道路網の整備促進について	p. 18
24. 公共交通対策について	p. 20
25. 関西文化学術研究都市建設の推進について	p. 21
26. 北陸新幹線の早期全線開業について	p. 22
27. 木津川流域下水道処理施設の整備促進について	p. 23
28. 下水道施設の改築に係る国庫補助の継続について	p. 24

安全・安心 ～ 安全で心安らく優しいまち ～

1 台風・局地的豪雨・内水排除対策について

【担当部局】 建設交通部、農林水産部

木津川本川、支川の総合的な治水対策を短期、長期の視点から進めるため、次のとおり要望します。

(1)新西浜樋門と田辺排水機場の整備について、本市中心市街地の治水安全性の向上に大きく寄与することから、早期の工事完成をお願いします。

また、新西浜放水路から上流部(馬坂川合流点まで)の府管理河川防賀川の改修について、早期事業化をお願いします。

(2)国管理河川木津川について、引き続き堤防補強工事を進めるとともに、国土交通省直轄飯岡久保田樋門に強制排水ポンプを設置いただくよう、強く国に働きかけていただきますようお願いいたします。

(3)府管理河川防賀川について、虚空蔵谷川合流部付近から上流部についての事業化をお願いします。

(4)府管理河川天津神川について、ネックポイントとなる府道八幡木津線水路橋部と上流50メートル区間について、早期に断面拡幅工事に着手いただきますようお願いいたします。

(5)府管理河川馬坂川について、切下げ工事を推進いただくとともに、切り下げた土地を活用し、新田辺駅周辺と市役所庁舎周辺を結ぶ遊歩道等を整備いただきますようお願いいたします。



【現状と課題】

本市では、国管理一級河川木津川の水位上昇によって排水樋門が閉鎖された場合、内水排除が困難になり、多くの市街地で浸水が想定されるほか、府管理河川馬坂川や天津神川など、断面の狭小な天井川が市街地を流れている。

また、近年の台風やゲリラ豪雨は、従来の想定をはるかに超えるものとなっており、防賀川をはじめとする市内河川において溢水することが多く、市民の安全・安心の確保のために、総合的な治水対策を進める必要がある。

【京田辺市の担当課】 建設部 建設政策推進室(0774-64-1340)

2 道路施設の老朽化対策への支援拡充について

【担当部局】 建設交通部

橋梁等道路施設の老朽化対策について、補助制度の拡充をはじめとした財政措置の充実や公共施設等適正管理推進事業債の拡充と恒久化を国に対して働きかけていただくとともに、必要な予算の確保について、特段の配慮をお願いします。

また、老朽化した道路施設の点検、診断、補修など、対策に必要な人材の育成に向けて、知識や技術力向上のための研修会の充実をお願いします。

【現状と課題】

本市では、長寿命化計画を策定し、施設の保全管理を進めているが、公共施設等適正管理推進事業債は、充当率、普通交付税措置率が、他の事業債(緊急自然災害対策事業債等)より低く、財政的な制約から計画に沿って老朽化対策が行えない事例が発生している。

また、補助制度の事業期間が、令和4年度から令和8年度までの5年間となっており、道路施設における長期的な修繕計画の推進のためには、補助制度のさらなる延長が必要になっている。

【京田辺市の担当課】 建設部 施設管理課(0774-64-1342)

3 防災広場の整備について

【担当部局】 総務部、危機管理部

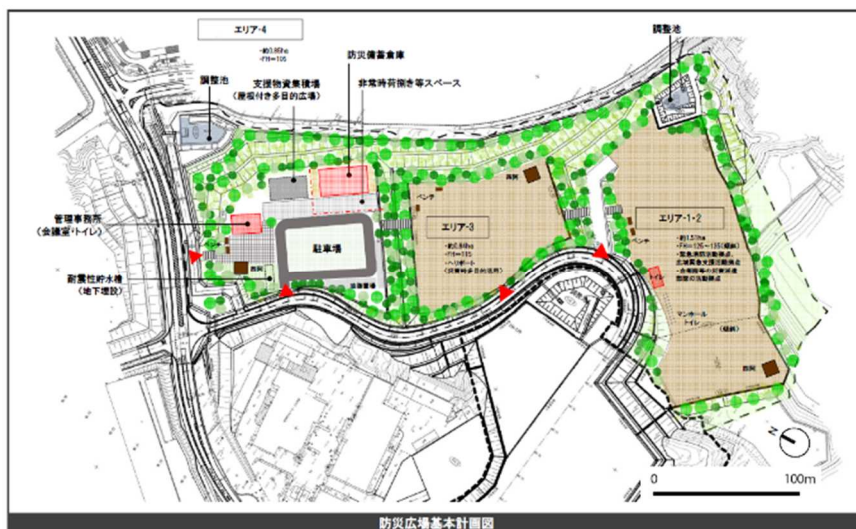
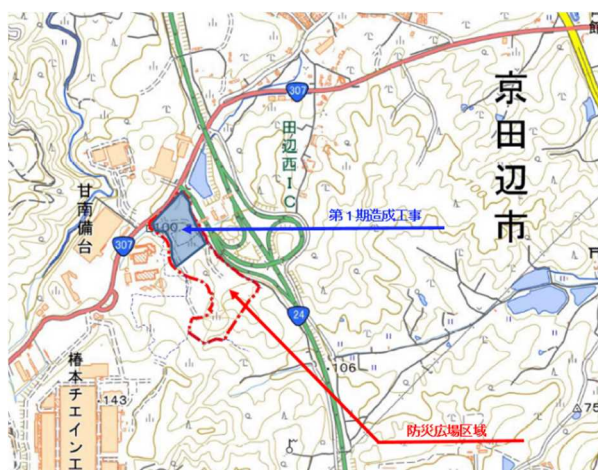
防災広場の整備について、幅広い用途(用地取得・設計施工・物品購入等)で活用でき、国の施策等との組み合わせができる府独自の財政措置を検討いただくとともに、国に対して財政措置の充実を働きかけていただきますようお願いいたします。

【現状と課題】

本市では、緊急輸送道路に指定されている京奈和自動車道と国道307号の交差点にある田辺西IC西側において、大規模災害時に復旧・復興のための資機材や生活物資の中継基地になるなど、効率的・効果的な中核防災拠点機能を備えた防災広場の整備を進めている。

また、当該防災広場は、広大な面積を有することから、周辺住民を多数収容できる避難場所など、様々な用途に活用することができる。

令和5年度に、第1期造成工事と防災備蓄倉庫の建築設計に着手するが、こうした具体的な取組みを進めるにあたって、財政措置が大きな課題となっている。



【京田辺市の担当課】 安心まちづくり室(0774-64-1307)

緑 ～ 緑に包まれた美しいまち ～

4 田辺公園拡張整備事業について

【担当部局】 健康福祉部、農林水産部、建設交通部

農福連携をテーマにした田辺公園拡張整備事業について、社会資本整備総合交付金にかかる国との調整、情報提供や配分のほか、公園の運営に係るソフト事業等の実施にあたり、特段の配慮をお願いします。

【現状と課題】

田辺公園拡張整備では、「農福連携」をテーマに、すべての市民が交流できる緑の拠点として、さらには障がいのある人が公園の運営管理に加わり、社会的自立に向けて訓練もできる施設となるよう、Park-PFI制度を活用し、令和6年度下半期の供用開始に向けて拡張整備を進めている。

しかし、事業を進めるにあたって、公園整備への有利な財源の確保に加え、民間事業者による運営に対しても公的な財政支援が求められる。



【京田辺市の担当課】

建設部 公園緑地課(0774-64-1344)

健康福祉部 障がい福祉課(0774-64-1372)

経済環境部 農政課(0774-64-1362)

5 ごみ焼却施設の建替えについて

【担当部局】 総合政策環境部、建設交通部

ごみ焼却施設建て替え(事業主体 一部事務組合枚方京田辺環境施設組合)にかかる循環型社会形成推進交付金の手続き等について、ご支援、ご協力をお願いします。

また、国道307号から、施設への進入路となる市道「甘南備台1号線」の整備を予定していることから、交差点の整備と、未改良となっている国道307号関係区間の早期工事完成をお願いします。

【現状と課題】

本市では、枚方市と共同でごみ焼却処理を行うため、一部事務組合を設立し、本市域で令和7年度の施設稼働を目指して施設建設工事を進めている。

また、パッカー車等の進入道路として、新たに市道の整備を予定しており、施設の供用開始までに、国道307号の交差点整備と、未改良となっている関係区間の整備工事を完了する必要がある。

- ・令和5年度～ 枚方京田辺環境施設組合による施設建設工事
- ・令和5年度～ 市道甘南備台1号線整備工事
- ・令和7年度 新ごみ焼却施設稼働、市道甘南備台1号線供用開始



【京田辺市の担当課】 経済環境部 ごみ広域処理推進課(0774-63-2679)

6 ゼロカーボンシティの実現に向けた施策について

【担当部局】 総合政策環境部

本市では、ゼロカーボンシティへ挑戦することを宣言し、温室効果ガス排出削減に取り組んでいることから、次のとおり要望します。

- (1)再生可能エネルギーの利用促進のため、災害時でも活用できる蓄電池などの家庭向け自立型再エネ設備の設置を推進する必要がありますので、「京都府家庭向け自立型再生可能エネルギー設備設置助成事業費補助金」を継続いただきますようお願いいたします。
- (2)再エネや省エネ住宅、電動車等の普及促進事業(補助金等)に関する施策を山城地域等の広域的なブロック単位で展開できるよう、対策と体制づくりをお願いします。

【現状と課題】

- (1)太陽光発電設備で生まれた電力は、固定価格買取制度の終了に伴い、今後は、電気自動車や蓄電池等と組み合わせるなどして自家消費が進むことが予想される。
近年、自然災害が多発するなか、災害時でも自立可能な太陽光発電設備と蓄電池を住宅に設置したいという声が多いが、蓄電池は高価な設備となっている。
家庭における蓄電池等の機器設置導入による再エネ利用を促進する取組みが必要である。
- (2)府南部市町村は、人員やノウハウ不足、再エネポテンシャルの規模が小さい等の課題から、単独で事業を展開するには限界があるため、充実された国の補助金や支援事業を活用したくても困難な状況であり、広域的な連携により取組みを推進できる仕組みが求められる。



【京田辺市の担当課】 経済環境部 環境課(0774-64-1366)

7 広域的な野良猫等の対策について

【担当部局】 文化生活部

京都府が認定する動物愛護団体等と連携した地域猫対策スキームを検討するとともに、地域猫・野良猫の避妊去勢手術に対する京都府独自の補助制度の創設をお願いします。

【現状と課題】

改正「動物の愛護及び管理に関する法律」の施行以降、府内での殺処分の件数が大幅に減少し、野良猫が増加するなか、令和3年には、京都府動物愛護推進計画に「地域猫」活動のあり方を検討するための研究会の立ち上げが明記された。

有効な野良猫対策のためには、無責任な餌やり等に指導権限を有する京都府と、地域で避妊去勢手術等の活動を行う動物愛護団体等との連携が必要である。

【京田辺市の担当課】 経済環境部 環境課(0774-64-1366)

8 イノシシ被害対策の推進について

【担当部局】 農林水産部

農作物の被害軽減を目的としたイノシシの捕獲について、共同埋設地、共同処分場の設置による適正な処分体制の確立や繁殖防止など、地域ぐるみで取り組む対策の推進にご支援をお願いします。

【現状と課題】

本市では、山間部の普賢寺地域で、イノシシによる農作物被害が後を絶たないことから、檻で捕獲し、捕獲場所付近で埋設処分を行っている。

しかし、イノシシの大きさや埋設場所の状況によっては、埋設に必要な十分な深さを確保することが困難であり、悪臭被害等による苦情が多く寄せられている。

【京田辺市の担当課】 経済環境部 農政課(0774-64-1362)

健康 ～ いきいき健康で明るいまち ～

9 認定こども園の整備促進について

【担当部局】 健康福祉部

公立認定こども園の整備に対する財政支援を、国に対して働きかけていただきますようお願いいたします。

【現状と課題】

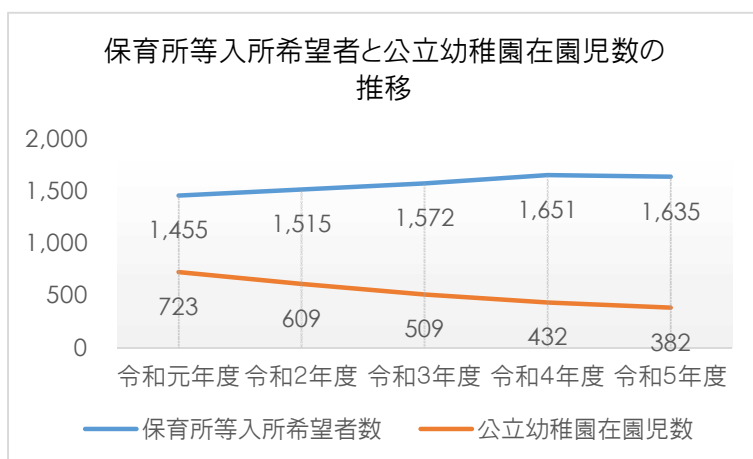
本市では、概ね小学校区ごとに、市立幼稚園7園を配置するほか、市立保育所4園と市立認定こども園を1園配置している。

しかし、子育て世代の転入が続くなか、教育・保育ニーズが多様化し、市立幼稚園では施設の老朽化と園児数の減少が進む一方、市立保育所では入所希望者が増加し続けるなど、就園状況が大きく変化してきた。

こうしたことから、就学前教育体制を発展させつつ待機児童を解消するため、「第1期京田辺市立幼稚園・保育所再編整備計画」を策定し、幼稚園と保育所の再編を進めている。

令和5年4月には、北部地域の子育て支援拠点となる「市立大住こども園」が開園したところであり、今後も、幼保連携型認定こども園化を順次進める予定である。

公立認定こども園の整備に対しては、就学前教育・保育施設整備交付金など国の補助制度の対象外であり、大部分が一般財源による負担となり、市財政を圧迫している。



【京田辺市の担当課】 輝くこども未来室(0774-64-1350)

10 保育所等設置に係る多様な主体の認可について

【担当部局】 健康福祉部

株式会社など、多様な主体が保育所運営に参画できるように、認可申請・審査について、特段の配慮をお願いします。

【現状と課題】

本市では、子育て世代を中心に転入が続いており、引き続き、保育ニーズの増加が見込まれることから、待機児童が発生しないよう、受け皿となる施設の拡大が急務となっている。

こうしたことから、社会福祉法人以外の設置主体を含め、民営による保育所・認定こども園の新設などの検討を行っているが、運営事業者の確保に苦慮しているところである。

増加する保育ニーズに対応するためには、保育所運営に多様な主体が参画できるよう、京都府の積極的な対応が必要である。



【京田辺市の担当課】 輝くこども未来室(0774-64-1350)

11 障がい児保育の充実について

【担当部局】 健康福祉部

保育や療育を受けられない医療的ケア児を含む障がい児保育の充実に向けて、一般財源化された「障害児保育事業費補助金」の復元を国に対して働きかけていただくとともに、府独自の補助制度の創設をお願いします。

【現状と課題】

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」において、地方公共団体は障がい福祉サービスの提供体制の確保に努めることとされている。

地方交付税の総額が抑制されている現状において、国補助金の一般財源化は、市町村の実質的な負担増となっている。

【京田辺市の担当課】 輝くこども未来室(0774-64-1350)

12 介護職員体制の充実について

【担当部局】 健康福祉部

介護職員の人材育成・確保に向けて、人材不足を補うICT導入への助成など、府独自支援の充実をお願いします。

【現状と課題】

第9期高齢者保健福祉計画の策定にあたり実施した介護サービス事業所へのアンケート調査において、事業所の運営上の課題として、「人材の確保が難しい」との回答が最も多く、人材確保の課題が解消されていない。

また、2025年には、団塊の世代が75歳以上となり、今後も後期高齢者の数が増加することから、介護人材の確保と育成が急務であるほか、介護スタッフの高齢化も進んでいる。こうしたことから、事業所業務の効率化を進める必要があり、ICT 機器の導入等への支援が必要である。

【京田辺市の担当課】 健康福祉部 介護保険課(0774-64-1373)

13 介護保険総合事業の充実について

【担当部局】 健康福祉部

介護予防・日常生活支援事業の実施にあたり、事業の受け皿となる実施事業者への府独自の支援や補助制度の創設をお願いします。

【現状と課題】

介護予防・日常生活支援総合事業として、市独自の緩和基準サービスを実施しているが、事業の性質から利益が出にくく、事業者にとって参入しがたい状況にある。

【京田辺市の担当課】

健康福祉部 高齢者支援課(0774-63-1307) 介護保険課(0774-64-1373)

14 市町村の負担能力に応じた柔軟な国保事業の財政運営について

【担当部局】 健康福祉部

国保事業納付金の算定にあたっては、被保険者数の見積もりにおいて被保険者1人当たりの保険税負担が過大とならないよう、引き続き、府において是正措置いただきますようお願いいたします。また、令和6年度から国の激変緩和措置がなくなること、また納付金には精算の制度がないことから、府の特例基金から納付金減額のために優先的に使用するなど、市町村の実態に応じた対応をお願いします。

また、医療費助成の地方単独事業や精神・結核医療付加金が存続できるよう、財政的な支援をお願いします。

【現状と課題】

国保事業納付金は、府内保険税(料)収納必要額を市町村ごとの被保険者数と所得水準で按分し、それぞれに医療費水準を反映させて決定される。被保険者一人当たりの保険税負担が過大とならないよう、引き続き府の財政支援が必要となっている。

また、医療費助成の地方単独事業の実施に伴う国保事業にかかる国庫支出金減額措置や、精神・結核医療付加金(任意給付分)に対する財政支援がないことが国保財政への負担となっている。

【京田辺市の担当課】 市民部 国保医療課(0774-64-1332)

15 シルバー人材センターへの補助について

【担当部局】 商工労働観光部

働く意欲のある高齢者が、今まで培ってきた知識・経験・能力を生かし、社会の担い手としていきいきと働き、生涯現役で活躍し続けられる社会の実現に向けて、シルバー人材センターへのさらなる財政的な支援をお願いします。

【現状と課題】

高齢化が進行するなか、働く意欲のある高齢者の社会参加の機会創出の重要性が増している。

本市シルバー人材センターは、ワンコインサービスの提供や介護予防、日常生活支援総合事業の担い手として、地域共生社会の形成に寄与しており、今後も重要な役割を果たすものである。

会員登録状況	会員数	男性	女性
入会者数	508人	318人	190人
退会者数	43人	60人	190人

【シルバーの日】 啓発清掃ボランティア

【日時】 10月20日(金) 午前9時00分～10時00分 (小雨決行)

【内容】 ・参加者による駅周辺の清掃ボランティア
・参加者による啓発リーフレットの自宅周辺へのポスティング 等

【場所】 ① JR松井山手駅周辺 ② JR大住駅周辺
③ 近鉄新田辺駅周辺 ④ 近鉄美戸駅周辺 (今回初めて実施)

※ご自宅から参加しやすい場所にてご参加ください。
※参加者には「2ポイント特等」します(後日、ポイント押印も可)

「高齢者社会参加促進事業チケット」ご利用を **500円**

【京田辺市の担当課】 健康福祉部 高齢者支援課(0774-63-1307)

16 保健師体制の充実について

【担当部局】 健康福祉部

市民への保健サービスの質を担保するため、保健師の人材確保と増員のための財政措置をお願いします。

また、新任期から管理期まで、一貫した保健師の現任教育体制の整備、充実をお願いします。

【現状と課題】

高齢化社会となり、地域住民の保健指導や健康管理などによる市町村保健サービスの需要は増加しており、サービスの最前線を担う保健師の人材確保が課題となっている。

【京田辺市の担当課】 健康福祉部 健康推進課(0774-64-1335)

文化・教育 ～子育てしやすく未来を育む文化薫るまち～

17 広域的スポーツ施設充実支援事業補助金の拡充について

【担当部局】 文化生活部

府内におけるスポーツ施設の機能向上を目的とした広域的スポーツ施設充実支援事業補助金について、補助対象施設をスポーツ施設のみならず、アウトドアスポーツを楽しめるレクリエーション施設にも拡充をお願いします。

【現状と課題】

コロナ禍以降、自然の中で楽しむアウトドアスポーツやアクティビティに注目が集まり、国内ではキャンプやトレッキング等の需要が高まっている。これらのアウトドアスポーツの振興は広域的に集客することが可能であるとともに、地域活性化や健康長寿社会の実現など、スポーツを通じて他の分野にも貢献し、社会活性化に寄与する。

現在、本市では、野外活動センターを市直営で管理・運営しており、今後民間活力による運営体制の構築や施設の拡張整備を検討している。

しかしながら、現状では公共が管理運営するレクリエーション施設の改修に対する補助制度が乏しく、大部分が一般財源による負担となるため、財源確保が課題となっている。



【京田辺市の担当課】 市民部 文化・スポーツ振興課(0774-64-1302)

18 天理山古墳群史跡広場整備に係る財政支援について

【担当部局】 総務部

天理山古墳群は、前方後円墳2基と前方後方墳1基が所在しており、同古墳群を含め、京田辺市から八幡市に分布する綴喜古墳群が、令和4年11月10日付けで、国史跡に指定されたところです。

今後、天理山古墳群と周辺の土地を適切に保存し活用を図るため、史跡広場として整備を進める予定をしています。

しかし、土地取得だけで22億円もの財政負担となっており、広場整備事業においても、多額の財政負担が課題となっていることから、「きょうと地域連携交付金」の上乗せを含め、一層の財政支援をいただきますようお願いします。

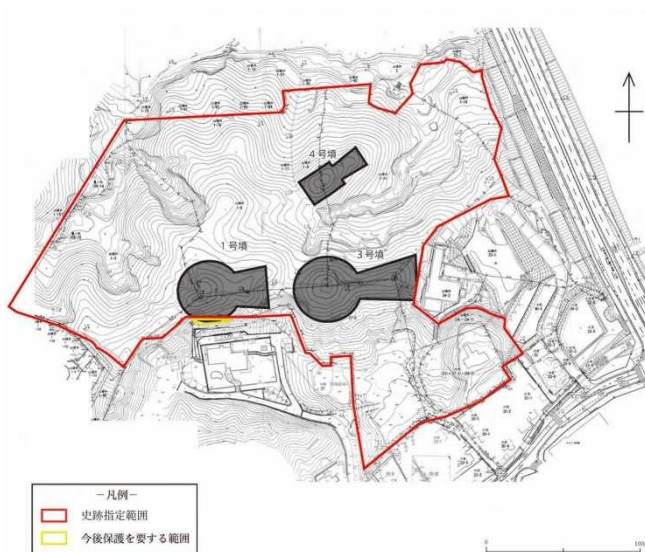
また、今後、適切に史跡の維持管理ができるよう、府独自の財政的支援についても特段の配慮をお願いします。

【現状と課題】

令和5年度から2カ年で、天理山古墳群を含めた綴喜古墳群保存活用計画を策定する予定である。

天理山古墳群に係る用地の公有化にあたり、国庫補助金を活用しても、市の財政負担が大きい。

さらに、今後適切に史跡を維持管理していくために除草や樹木の剪定等の維持管理費が不可欠となることや、周辺地域と連携した広域的な古墳群として、魅力的な観光資源にするためには補助金の活用や新たな財源の確保が必要となる。



【京田辺市の担当課】 市民部 文化・スポーツ振興課(0774-64-1300)

19 学校施設長寿命化の推進に対する支援について

【担当部局】 教育庁

学校施設長寿命化計画に基づき実施する改修は、国において一定の財政措置がありますが、仮設校舎(リース契約を含む)の建設についても学校施設環境改善交付金の対象とするなど、一層の財政的支援について国に対し働きかけをお願いするとともに、府独自の財政的支援についても特段の配慮をお願いします。

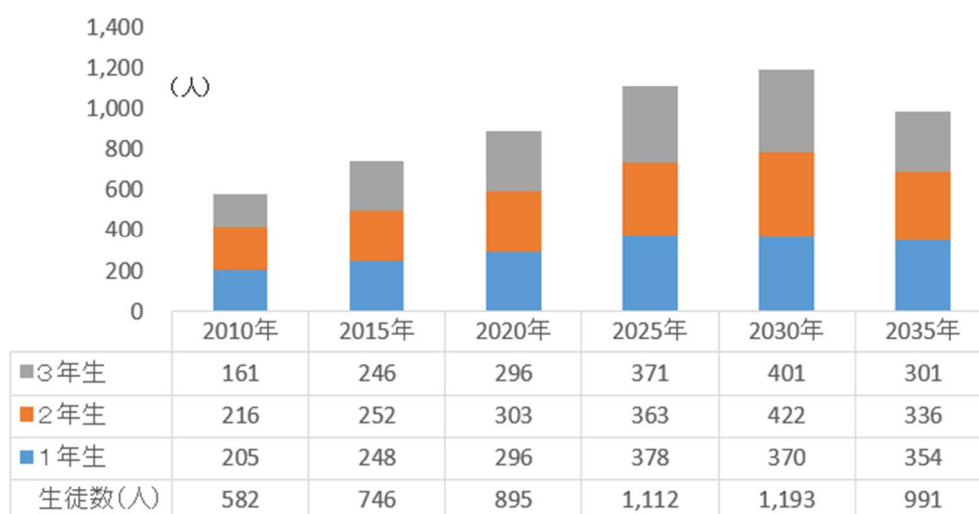
【現状と課題】

本市では、学校施設の維持管理について、「事後保全型」から「予防保全型」への転換を図るため、令和2年度に学校施設長寿命化計画を策定し、令和3年度から計画的に長寿命化改修に取り組んでいる。

しかし、本市では児童・生徒数が高止まりしており、施設の拡充や維持管理に並行して長寿命化改修を行う必要があることから、市財政の負担が大きい。



【参考】市立田辺中学校生徒数推計(本市子ども人口推計より)



【京田辺市の担当課】 教育部 学校教育課(0774-64-1392)

20 GIGAスクール構想の実現に向けた継続的な支援について

【担当部局】 教育庁

本市が令和2年度に取り組んだ「通信ネットワーク環境整備」、「1人1台端末整備」は、国において一定の財政措置がありました。ランニングコストや機器の更新に係る経費等への継続的な支援について、引き続き、国に対して財政措置の働きかけをお願いするとともに、教員の配置と人材育成について特段の配慮をお願いします。

【現状と課題】

GIGAスクール構想の実現に向けては、環境整備に伴う経常経費の増大、機器の更新、高速ネットワークの維持向上、学習支援ソフトウェアの購入のほか、教員の配置やICT活用指導力の向上等が必要になっている。



【京田辺市の担当課】

教育部

こども・学校サポート室(0774-64-1325)

学校教育課(0774-64-1392)

21 多様化するニーズに応えるための学校教職員の確保について

【担当部局】 教育庁

不登校対策専任教職員、特別支援教育加配教職員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど、いわゆる「チームとしての学校」を充実していくための専門的スキルを有する教職員の確保に向けて、府独自の財政的支援をお願いします。また、府から配置される教職員の増員をお願いします。

【現状と課題】

本市では、令和5年8月、新たに「京田辺市教育支援センター」を開設した。

同センターや各学校においては、不登校対策、特別支援教育、帰国・外国人児童生徒への対応をはじめ、福祉や心理・医療的対応など、児童生徒個々に応じた教育を行うため、専門的スキルを有する教職員の確保が不可欠となってきている。

【京田辺市の担当課】 教育部 教育総務室(0774-64-1391)

田園都市 ～活力にみちた便利で快適なまち～

22 田辺北地区新市街地整備と複合型公共施設の整備について

【担当部局】 総合政策環境部、文化生活部、商工労働観光部、建設交通部

新市街地の整備について、道路や公園、調整池等の都市基盤整備に係る社会資本整備総合交付金等の活用にあたって、ご支援をお願いするとともに、賑わいの核となる文化振興機能と行政サービス機能を併せ持つ複合型公共施設整備についても、ソフト・ハード両面からご支援いただきますようお願いいたします。

また、土地利用の促進にあたって、民間企業・施設の誘致についても、ご支援、ご協力をお願いいたします。

【現状と課題】

市の中核拠点である田辺北地区では、複合型公共施設や商業施設等を集約するウォークブルで魅力ある新たな市街地を整備し、交通利便性を最大限に生かした生活利便性の高いコンパクトシティを形成することで、府南部の交流拠点を目指した取組みを進めている。

【参考】イメージ図



今秋、事業区域が市街化区域に編入され、令和5年度末に土地区画整理組合が設立される予定であり、市も新たなまちづくりに向けて事業化を支援している。

また、複合型公共施設については、市民と文化をつなぐ新たな文化施設としての機能を備え、行政サービス機能を併せ持つ新市街地の核となる施設として、区画整理事業の保留地に、官民が連携して整備する方向で取組みを進めており、民間資本の導入や財源確保が必要不可欠である。さらに、魅力ある市街地整備のためには、商業施設に加え、中核拠点や交流拠点に相応しい都市機能の誘致が必要である。

【京田辺市の担当課】

企画政策部 都市みらい室(0774-64-1361)

市民部 文化・スポーツ振興課(0774-64-1300)

23 道路網の整備促進について

【担当部局】 建設交通部

道路ネットワークの強化による交通利便性のさらなる向上や交通渋滞緩和のほか、市道の安全対策と適切な維持管理等を図るため、以下の事項について、積極的な取組みと支援をお願いします。

(1) 都市計画道路大住草内線について、京奈和自動車道田辺北ICと国道307号を結び、田辺北地区新市街地へのアクセス道路としても早期に整備が求められることから、本市が道路事業の最優先事業として取組みを進めているところであり、予算確保や技術支援など、特段の配慮をお願いします。

(2) 府道八幡木津線について、沿線で整備された土地区画整理事業区域への大型物流施設建設や新名神高速道路全線開通により、交通量の増加が見込まれることから、「都市計画道路松井大住線」の早期の4車線事業化をお願いします。

(3) 新名神高速道路について、重要物流道路に位置付けられていることから、既供用区間の「城陽～八幡京田辺間」を含め、全線6車線化が早期に整備されるよう、国に対して働きかけをお願いします。

(4) 京奈和自動車道について、近年頻発する大規模災害に備えた機能強化を図るために暫定2車線区間の4車線化が必要なことから、「高速道路における安全・安心基本計画」の整備区間に選定されるよう、国に対して働きかけをお願いします。

(5) 国道307号について、京奈和自動車道田辺西ICから大阪府枚方市までの間の線形が悪く危険であることから、改良工事の早期完成をお願いします。

また、新たなごみ焼却施設への進入路との交差点整備と信号機設置に向けた調整についても、特段の配慮をお願いします。

(6) 府道生駒井手線について、三山木地区特定土地区画整理事業施行地区西側（山手幹線）まで整備いただきましたが、東側（玉水橋まで）についても、国道24号城陽井手木津川バイパスへのアクセス道路として、早期事業化をお願いします。

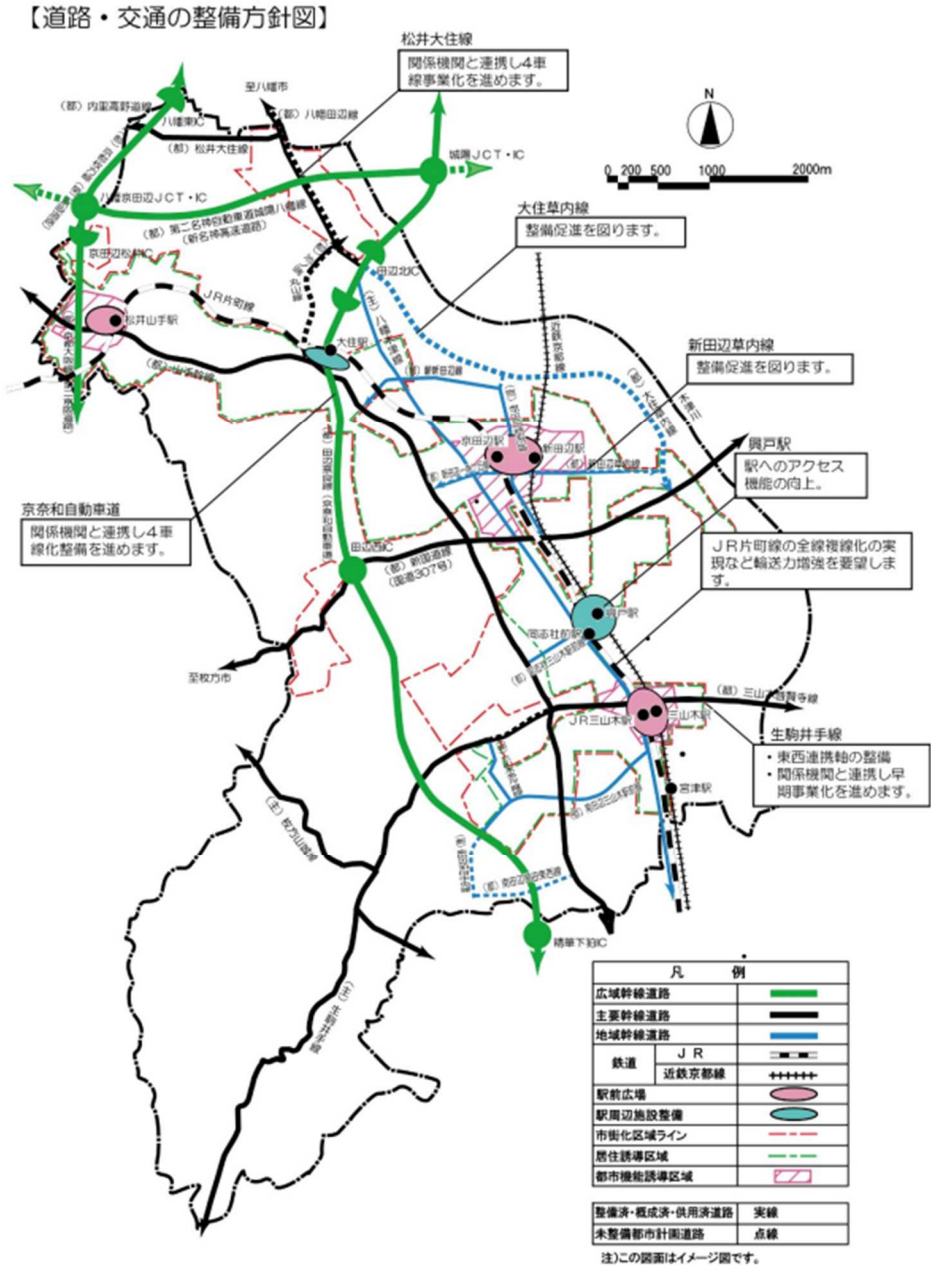
また、周辺生活道路の抜け道利用を抑制するため、市道草内三山木線への右折レーンの設置をお願いします。多々羅地区についても、現道拡幅等の早期整備をお願いします。

(7) 山手幹線について、市北部地域では週末を中心に渋滞が頻発していることに加え、北陸新幹線の新駅が松井山手付近に設置される予定であることから、新たな道路ネットワーク整備の検討など、広域的な対策を講じていただきますようお願いいたします。

(8) 府道バイパスの整備に伴う旧府道の市道移管について、現道改良工事、用地・境界紛争の解消、引継図書の整理などに関して、引き続き、十分な協議・調整をお願いします。

【現状と課題】

新名神高速道路の全線開通等により、道路ネットワークのさらなる強化が求められる。また、市内幹線道路では、交通集中による混雑が発生し、市民生活や産業活動に影響を及ぼしている状況であり、新名神高速道路の全線開通等によって、今後さらに交通量の増加が見込まれることから、交通渋滞への対策が急務となっている。



【京田辺市の担当課】 建設部 建設政策推進室(0774-64-1340)

24 公共交通対策について

【担当部局】 建設交通部

JR片町線(学研都市線)について、早期全線複線化に向けた積極的な取組みとご支援をお願いするとともに、令和4年3月のダイヤ改正により減便されたダイヤを速やかに回復するよう、JR西日本に強く働きかけていただきますようお願いいたします。

路線バスについては、中山間地域を運行する路線に対する経費補助などの財政支援や、深刻さを増す運転手不足に対する抜本的対策の検討をお願いいたします。

特に、コロナ禍以降、公共交通事業者が経営危機に直面していることから、これまで以上に経営支援等に積極的に取り組んでいただくとともに、周辺自治体との広域的な支援についても検討いただきますようお願いいたします。

【現状と課題】

JR片町線(学研都市線)は、近畿圏の各都市を結ぶ大都市鉄道網「アーバンネットワーク」の一翼を担う重要な路線であり、府南部地域のさらなる発展に片町線が果たす役割は大きい。

特に、松井山手付近に設置される北陸新幹線新駅との連携や市南部地域における学研区域の開発などを見据えた広域的な利便性向上を図る必要がある。

しかし、令和4年3月のダイヤ改正によって、同志社前駅～木津駅間が大幅に減便されたことから、早期にダイヤの回復が求められる。

路線バスについては、コロナ禍が長期化したことなどによって経営が悪化していることから、維持・発展に向けたさらなる支援が必要となっている。

コロナの5類移行などにより、海外からのインバウンドが急速に増加しており、観光バス需要の高まりや働き方改革によって運転手不足がさらに深刻となり、利用客が多い路線であっても減便・廃線となる可能性がある。



このような状況から、本市では沿線の地元区・自治会との連携や「京田辺市地域公共交通活性化協議会」を通じた対策の検討など、すべての公共交通の活性化を図る取組みを進めている。

【京田辺市の担当課】 建設部 計画交通課(0774-63-1219)

25 関西文化学術研究都市建設の推進について

【担当部局】 商工労働観光部

南田辺西地区(京都府所有地約60ヘクタール)の整備促進と、先端的な研究開発拠点として地域振興・経済発展(税収の増加・雇用の創出等)につながるような施設の誘致について、特段の配慮をお願いするとともに、関連公共施設の整備に関し十分な協議・調整をお願いします。

南田辺東地区につきましても、早期事業化に向けて調整を進められるようお願いいたします。

また、普賢寺地区については、学研都市建設計画に「段階的に整備を進める」と記載がありますが、未だ具体的に定まっていないため、整備の方向性について検討をお願いします。

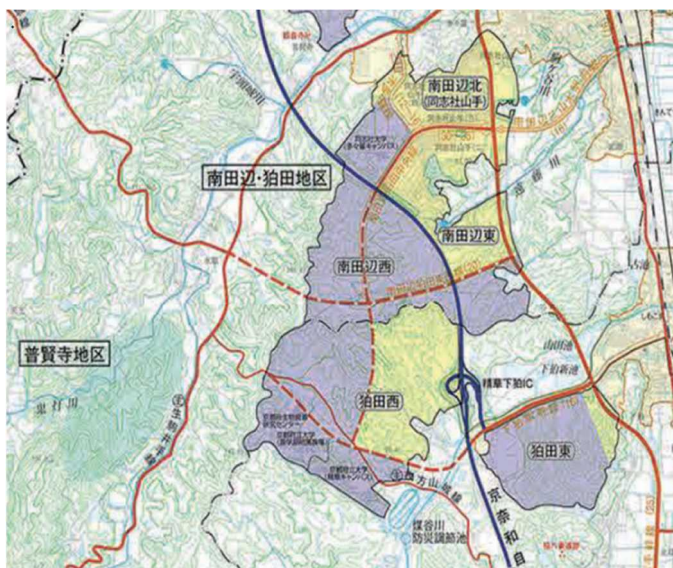
【現状と課題】

本市では、関西文化学術研究都市建設について、クラスター整備を見越して周辺整備を進めてきたが、市域には、今なお未整備クラスターが存在している。

南田辺西地区については、フードテック産業の集積地を目指し整備が進められるが、立地する企業と市内産業や特産品との連携が図られ、地域産業全体としてのポテンシャル向上につながる取組みが求められる。

また、本市では、田辺地区に立地する同志社大学連携型起業家育成施設「D-egg」の卒業企業の市内立地を支援しているが、立地に適した事業用地が不足しており、高度技術、先進技術を持つ企業が域外に流出するリスクがあるため、ポストインキュベーション企業にとっても活用しやすい用地の整備が求められる。

あわせて、普賢寺地区の整備検討や、それに伴う南田辺狛田地区から普賢寺地区に通ずるアクセス道路整備についても促進する必要がある。



【京田辺市の担当課】 企画政策部 企画調整室(0774-64-1310)

26 北陸新幹線の早期全線開業について

【担当部局】 建設交通部

北陸新幹線敦賀～新大阪間の一日も早い着工と早期全線開業に向けて、京都府、京都市及び南部地域の思いを反映した要望活動を展開するために、京都府のリーダーシップのもと、早期に(仮称)京都府建設促進同盟会を設立いただきますようお願いいたします。

また、環境アセスメント手続きにおいては、市民等が十分な説明を受け情報を得ることができる機会が確保され、駅位置やルートについては自然環境や生活環境に与える影響の回避、低減のほか、本市のまちづくりとの整合が図られ、府南部地域の発展につながるものとなるよう、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対し働きかけをお願いします。

【現状と課題】

北陸新幹線の京都～新大阪間については、松井山手付近に新駅の設置が決定し、現在環境アセスメントが実施されるなど、市民の関心が高まっている。

石川県や福井県では、県単位で建設促進同盟会を設立し、国や鉄道建設・運輸施設整備支援機構への働きかけが行われており、京都府においても早期にそうした組織の設立が必要である。



【京田辺市の担当課】 企画政策部 企画調整室(0774-64-1310)

27 木津川流域下水道処理施設の整備促進について

【担当部局】 建設交通部

木津川流域下水道の処理施設である洛南浄化センターについて、処理能力増強に向けて施設の早期整備拡充をお願いします。

【現状と課題】

本市では、高い交通利便性を活かし、子育て支援に重点を置いたまちづくりによって順調に人口が増加し、企業の立地も進むなか、市民の安全・安心や快適な暮らし、地域の発展のため、下水道施設の重要性がますます高まっている。

現在、新名神高速道路の整備促進に伴う地域開発等により、下水道流入量の増加が続いているなか、新たなごみ焼却施設の建替えをはじめ、田辺北地区新市街地整備や京奈和自動車道田辺西 IC 西側での防災広場の整備など、大きなプロジェクトが進んでいる。

また、府においても、学研南田辺西地区でフードテック産業の集積を目指した基盤整備に向けて取組みが進められている。

これらの事業を円滑に推進するためには、重要な都市基盤施設である流域下水道の整備が不可欠である。



【京田辺市の担当課】

上下水道部 経営管理室(0774-62-0414) 下水道課(0774-64-1352)

28 下水道施設の改築に係る国庫補助の継続について

【担当部局】 建設交通部

下水道施設の老朽化対策、下水処理機能確保の観点から、下水道施設の改築に係る国庫補助が継続されるよう、国に対して働きかけをお願いします。

【現状と課題】

平成29年度の国の財政制度等審議会において、下水道施設の改築に係る費用については下水道使用料にて賄うべきものであるとされ、平成30年度から改築更新は交付金の重点配分の対象外となっている。

こうしたなか、本市では、令和3年に下水道使用料の改定を行ったが、老朽化した下水道施設の改築に係る国庫補助が削減・廃止されると、さらに高額な下水道使用料を設定せざるを得なくなり、市民生活に重大な影響を及ぼすこととなる。

下水道は、市民生活や社会経済活動を守り、快適な暮らしを支えるとともに、公共用水域の水質を保全する高い公共性を有する社会資本であり、下水道施設の改築にかかる国による継続した財源措置が必要となる。



【京田辺市の担当課】

上下水道部 経営管理室(0774-62-0414) 下水道課(0774-64-1352)



緑豊かで健康な文化田園都市